建築等許可申請書添付図書

基準第7号(既存集落内のやむを得ない自己用住宅)

チェック	図書の種類	様式・ 縮尺等	明示すべき事項	備考
	建築等許可申請書	規則別記 様式第 9 ※DL可	申請書裏面 [注意事項] を参照のこと 申請文の() 内の該当するものを で囲む 1 欄:実測面積(小数第2位まで) 2 欄:専用住宅、併用住宅の別 3 欄:斜線 4 欄:令第36条第1項第3号ホ (既存集落内のやむを得ない自己用住宅) 5 欄:農地転用許可、水路占用許可、道路承認工事等他法令の手続きがある場合は、その申請状況を記入(該当しない場合は斜線) 裏面:連絡先を記載	一部申請は不可
	委任状	任意 ※DL可	委任する者の住所、氏名及び資格並びに委任する内容を記載し、委任者 の記名をすること	
	建築理由書及びその裏 付け資料		(碧南市長あてに) 新たに住宅を必要とする理由、申請地の選定理由及び現在の居住の状況 を記載し、日付、記名をすること。 ※裏付け資料 狭 小一土地・建物の登記簿謄本又は課税証明書及び建物平面図等 借家等一賃貸契約書の写し(原本証明すること)、建物課税証明書等 その他一個別に相談のこと	
	住民票の写し		申請地に居住することとなる全員のもの	発行から3か月以内の もの
	戸籍謄本		線引き時の土地所有者と申請者との関係を証するもの	発行から3か月以内の もの
	所有地申告書		一覧表にして現況を記載し、位置図を添付すること 名寄帳の写し(原本証明)又は課税証明又は無資産証明書を添付すること (農地のみ所有の場合は、農地法84条証明書で可) 申請者、申請者の配偶者	
	土地の登記簿謄本 (登記事項証明書)		法務局が発行する全部事項証明書 仮換地又は一時利用地の場合は、その証明書も添付	発行から3か月以内の もの
	土地の公図の写し		申請区域及び接する土地(隣接する周辺状況がわかる範囲)のもの 申請区域を赤枠で囲み、写した場所、写した日付を記載し、写した者の 記名をすること	発行から3か月以内の もの
	建築行為施行同意書	任意 ※DL可	申請者と土地所有者等が異なる場合に添付 土地の所在、面積、地目権利の種類、同意日付及び権利者の住所・氏名	※開発許可の場合、すべての権利者について 添付
	付近見取図	1/2,500 以上	都市計画課発行の都市計画図切図を利用すること。 図面名称、方位、敷地の位置(赤枠)、敷地周辺の公共施設、排水先河川までの経路(黄緑)、市街化区域・調整区域界(橙)、市町村界(紫)、建築物45棟以上の連たん(黄塗潰し)※大規模集落の場合は下記により表示すること ・指定既存集落(180棟以上の連たん) 建物を橙色で塗りつぶし、No.1からNo.180まで表示。申請地を赤枠で、現居住地の位置を桃枠で表示・申請地の戸数密度(3ha当たり18棟以上) 100m×100mのメッシュ3個を表示する・社会生活に係る施設 建物を黄色で塗りつぶし、名称を記入する・散在型、衛星型集落の場合 集落間の距離を記入する ・現地調査年月日、調査者の記名	
	敷地現況図	1/200 以上	方位、縮尺、申請区域(赤枠)、敷地の境界の種別及び寸法、道路の種類及び幅員、敷地及び周辺の高低差、建築物の位置(青枠)・用途及び出入口の位置、がけ及び擁壁の位置・構造及び許可等の番号、排水施設の位置・種類・水の流れの方向・吐口の位置・放流先の名称、占用許可又は承認工事のある場合は許可等の番号及び区域	

チェック	図書の種類	様式・ 縮尺等	明示すべき事項	備考
	建築物等各階平面図	1/200 以上	方位、縮尺、面積表、主要寸法、各室の用途(併用用途のある場合は赤枠で表示する) 物置等付属建築物も添付すること	
	建築物等立面図	1/200 以上	縮尺、最高の高さ 2面以上とし、物置等付属建築物も添付すること	
	実測図		方位、縮尺、土地家屋調査士等測量者(作成者)記名 地積測量図の証明書で可	
	排水施設構造図		最終桝及び排水先の断面構造(泥溜寸法、側溝等の形状)	
	水路占用の許可書又は 道路工事承認書の写し		水路占用許可又は道路工事承認を受ける(受けた)場合に添付すること。	
	誓約書	任意	(碧南市長あてに) 土地の所在、面積、建物の用途、「転売」・「賃貸」・「用途変更」しない旨を記載し、日付、記名をすること	
	排水同意書の写し		排水同意が必要な場合にその写しを添付	

注:この表以外に市長が必要と認める図書を求めることがあります。

開発許可申請の場合は添付図書が異なります。

原則として、許可申請書(正本)に図書原本を添付してください。

「DL可」とある様式は、碧南市建築課のホームページからダウンロードすることができます。